

令和3年度

事業報告書

令和 3年 4月 1日から
令和 4年 3月31日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

(令和3年度事業報告書)

I 米沢市上杉博物館	・・・	1ページ
1 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業		
2 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業		
3 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業		
4 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業		
II 置賜文化ホール	・・・	6ページ
1 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業		
III 米沢市座の文化伝承館	・・・	8ページ
1 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業		
IV 市立米沢図書館	・・・	8ページ
1 必要な図書、記録、資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業		
2 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業		
V よねざわ市民ギャラリー	・・・	14ページ
1 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業		
2 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業		
3 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業		
VI その他の事業	・・・	15ページ
1 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業		
2 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業		
3 財団の適正な運営に関する事業		

令和3年度 事業報告

I 米沢市上杉博物館

事業の推進・運営にあたっては、公益財団法人日本博物館協会のガイドラインを参考に、展示室内の定員設定や手指消毒液を設置するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための様々な対策を行った。

1 必要な図書・記録・資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業

1-1 展示事業

(1) 企画展示

展覧会名・会期・入場者数	概要
開館20周年 特別展 「上杉鷹山の生涯～藩政改革と家臣団～」 会期：令和3年4月17日（土） ～6月20日（日）[59日間] 入場者：5,851人	家臣団との関係を中心に上杉鷹山の生涯を紹介した。関川村渡辺家保存会や水戸市寄託の佐藤中陵関係資料等の従来知られていない資料の調査、展示に努めた。
開館20周年 企画展 「原出版75周年 きかんしゃトーマス展 ～ソドー島のなかまたちが教えてくれたこと～」 会期：令和3年6月26日（土） ～8月1日（日）[36日間] 入場者：6,848人	原作絵本出版75周年を記念し、日本初公開を含む原画と撮影用小物、映像、ジオラマ等により、人気キャラクターの世界を原点の絵本作品に立ち返りながら紹介した。
開館20周年 特別展 「狩野派 永徳とその周辺」 会期：令和3年8月7日（土） ～10月10日（日）[58日間] 入場者：9,739人	日本芸術文化振興会の助成金及び山形おきたま観光協議会の補助金を活用して、国宝「上杉本洛中洛外図屏風」とともに戦国時代から近世初頭の狩野派の代表的作品を展示し、狩野派の展開とその中での狩野永徳や上杉本洛中洛外図屏風の評価・価値について紹介した。
開館20周年 企画展 「上杉家伝来の能面・能装束～語りはじめた面袋～」 会期：令和3年10月16日（土） ～12月8日（水）[51日間] 入場者：8,808人	上杉家伝来の能楽資料をまとめて展示する初めての機会となった。継続した調査で12面の伝来面を新発見することができたと同時にさらなる継続調査の重要性が見えた。公益財団法人カメイ社会教育振興財団の助成金を活用した。
奥羽再仕置430年記念展示 「天下統一と上杉氏」 会期：令和3年12月11日（土） ～令和4年1月10日（月祝）[23日間] 入場者：1,630人	館蔵資料を中心に豊臣秀吉の天下統一の完成とされる天正18年（1590）の奥羽仕置、さらに翌年の奥羽再仕置における上杉景勝の動向を紹介した。奥羽再仕置430年展示は13館の連携展示。
開館20周年 コレクション展 「上杉家文書の世界VI～戦国の交渉～」 会期：令和4年2月11日（金祝） ～3月13日（日）[27日間] 入場者：1,535人	戦国時代の通信事情をふまえ、上杉謙信と北条氏康・氏政の越相同盟の展開や上杉景勝と武田勝頼の甲越同盟の際に使用された料紙の形に込められた意味等を、国宝「上杉家文書」の戦国時代の外交に関わる書状で紹介した。

(2) 常設展示（上杉文華館）

国宝「上杉家文書」を中心に、年間テーマ「上杉定勝」と題し、6つの小テーマで紹介した（展示替は上杉家文書を中心に一か月ごとに実施）。小テーマは次のとおり。

- ①「親と子①～景勝の教育～」 ②「親と子②～定勝の成長と別れ～」 ③「定勝の周辺」
④「定勝の文芸①～漢詩文と歌～」 ⑤「定勝の文芸②～定勝と書物～」 ⑥「我が子へ」

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」の原本は、令和3年4月17日（土）～5月16日（日）の期間上杉文華館において展示したほか、特別展「狩野派 永徳とその周辺」の後期期間（令和3年9月11日（土）～10月10日（日））に企画展示室で展示した。

「鷹山シアター」新規映像「上杉鷹山 ふたたびの改革 ～現在に語りかける明君の生涯～」の制作に協力し、令和4年3月29日より公開開始した。

【開催日数及び入館者数】

区分	令和3年度		令和2年度		対前年度比	
	開催日数	入館者数	開催日数	入館者数	開催日数	入館者数
常設展	337日	36,857人	281日	35,722人	56日	103%
企画展	231日	32,781人	158日	25,979人	73日	126%
合計	—	69,638人	—	61,701人	—	113%

(3) 次年度以降の展覧会準備

- ・次年度特別展「戦国京都と上杉家」の打合せ、調査
- ・次年度特別展「上杉家の古写真」の調査
- ・今泉篤男展に向けた調査
- ・上杉景勝と関ヶ原合戦に関する調査

1-2 資料の収集、保管、調査研究事業

(1) 資料調査

- ・上杉氏及び米沢藩関連資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査を行った。寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成を行った。
- ・当該年度及び次年度以降の特別展等の出展予定資料の調査を行った。
- ・上杉文書の目録作成のための調査を行った。
- ・本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料及び置賜ゆかりの作家について継続的に調査を行った。
- ・資料収集に伴う調査を行った。

(2) 資料収集

米沢市上杉博物館資料収集基本方針に基づき、資料・作品の収集活動を行い、館蔵資料の充実を図った。

- ・新規受入資料数 22件（約1,900点）
- ・資料収集検討会議 令和3年12月1日（水）
令和4年2月22日（火）

(3) 資料整理・管理

- ① 資料管理公開データベースに関する作業
- ・約10件の新規受け入れ登録、ラベリング
 - ・画像リンク作業
 - ・データベースの不具合調整

- ② 収蔵資料・寄託資料の解説・整理
 - ・既存収蔵資料について中世紙箱への入れ替え、ラベリング
 - ・寄託資料の整理・クリーニング
- ③ 収蔵資料の写真撮影
 - ・新規受入資料、展覧会出品資料の写真撮影
- ④ 収蔵資料の修理

資料名	員数	内容
上杉勝賢旧蔵アルバム（茶色） 上杉勝賢旧蔵アルバム（えんじ色）	各一点	写真の取り出し、ドライクリーニングなどの 応急修理を行った。 修復者：三木麻里
薙刀 無銘 附菊桐竹雀紋蒔絵透漆塗 長柄	一口	研磨を実施した。 委託先：株式会社日本刀剣
大名行列絵図	16枚	裏打ちのし直し、剥離止め、欠損部の補修等、 応急修理を行った。 修復者：東北芸術工科大学文化財保存修復研 究センター

- ⑤ 収蔵・展示区域の環境対策

生物被害を未然に防ぐ IPM（総合的有害生物管理）を年間通して取り組んだ。

 - ・エリア区分による段階的管理
 - ・粘着トラップの設置
 - ・展示ケース内アートソープ入替え
 - ・作品のクリーニング
 - ・空気環境調査
 - ・毎月の定期清掃
 - ・害虫の防除
 - ・定期的な温湿度測定
 - ・新収蔵資料の燻蒸
 - ・一般、特別収蔵庫のクリーニング

2 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業

2-1 教育・普及等事業

(1) 教育事業

地域・学校との連携により、子ども達の体験学習の場となる博物館、発信する博物館を目指し、子ども達の想像力・創造力を伸ばす造形や日本の手わざを体験するワークショップをはじめ、各展覧会に合わせたギャラリートークやコレクショントークを開催した。

- ① プレイショップ（常設） 利用者数：6,785人
 利用定員を15人とし、手指消毒、換気をしながら運営した。材料は、接触を避けるためキット化して配布し、道具の共有を少なくした。また、制作・体験補助の動画を毎回作成して体験学習室とHPで公開した。
- ② ワークショップ 利用者数：136人
 募集制として9つのプログラムを実施した。展覧会をじっくりと鑑賞するナイトツアーやモーニングツアーは好評だった。
 活動17年目を迎えたチルドレンキュレーターズ（こども学芸員）は、「博物館資料の整理と保存～モノとコトを整理する」をテーマに、学芸員の大切な仕事の一つである資料管理を体験した。
 自由参加制ワークショップ「むかしむかしをきこう」は中止した。

③ 地域・学校との連携

ア 学校利用

感染防止のため展示室の定員を超過しないよう予約段階で調整を行ったほか、通常実施している学校団体への解説やバックヤードツアーを実施しなかった。

区分	件数等	
施設利用、見学	年間3件	148人
学校利用（県内外修学旅行等）	年間200件	7,000人超
プレショップ利用	年間15件	107人
出前授業	年間6件	286人

イ 博物館実習生の受入

令和3年度は、信州大学・米沢女子短期大学から6人を受け入れた。

大学	人数	期間
信州大学	1人	令和3年8月24日（火）
山形県立米沢女子短期大学	5人	～8月29日（日）

ウ 企業訪問の受入

事業中止となった米沢チャレンジウィークの代替事業として米沢市立第七中学校から4人を受け入れ、施設見学や職員への仕事に関するインタビューを通し、米沢の素晴らしさや働くことへの喜び、仕事観などを学んでもらった。（期日：令和3年11月9日（火））

④ 情報ライブラリーの展開

蔵書の点検と整理を行い、図書整理サポーターと協働しながら書庫の整備に努めた。

収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術等の幅広い問合せに対応した。

開館20周年を記念し、20年間で開催した118の展覧会チラシを展示する「118stories 展覧会チラシでたどる175,200時間」を開催した。（前期：令和3年3月31日～9月21日、後期：令和3年9月23日～令和4年3月27日）

書籍の閲覧、検索機による情報提供は休止した。

区分等		件数
新規受入図書資料数		627冊
各種レファレンスの対応	調査を要するもの	53件
	来館者・電話によるもの	多数
新規映像「奥羽仕置と上杉景勝」		

(2) 普及事業

① 出版

- ・特別展図録『上杉鷹山の生涯～藩政改革と家臣団～』（1,000冊）
- ・特別展図録『狩野派 永徳とその周辺』（1,000冊）
- ・企画展図録『上杉家伝来能面能装束～語りはじめた面袋～』（600冊）
- ・『令和2年度米沢市上杉博物館年報』（500冊）
- ・伝国の杜だより Vol.40、41（Vol.40：5,000部、Vol.41：5,300部）
- ・教育普及だより ミュゼデュウ 春、下半期号（各22,000枚）

2-2 生涯学習支援事業

(1) 講演会、トークイベント

講演会名	期日・講師・参加者
「大名家臣の「奉公」とは何か」	期日：令和3年6月6日（日）14:00～16:00 講師：高野信治氏（九州大学比較社会文化研究院教授） 参加者：62人 備考：特別展「上杉鷹山の生涯」関連 オンラインで実施
「面袋はかく語りき ―近世大名家の能道具―」	期日：令和3年10月31日（日）14:00～16:30 講師：門脇幸恵氏（国立劇場調査養成部調査資料調査係長） 参加者：41人 備考：企画展「上杉家伝来能面・能装束」関連

講演会「狩野派の繁栄 元信から永徳へ」（特別展「狩野派 永徳とその周辺」関連）は中止した。

(2) ギャラリートーク

参加者数：121人

区分	期日・参加者・解説
特別展「上杉鷹山の生涯」	期日：①令和3年4月17日（土）17:15～ ②令和3年5月22日（土）9:15～ 参加者：①19人 ②9人 解説：佐藤正三郎（米沢市上杉博物館学芸員）
企画展「きかんしゃトーマス展」	期日：令和3年6月26日（土）17:15～ 参加者：9人 解説：遠藤友紀（米沢市上杉博物館学芸員）
特別展「狩野派 永徳とその周辺」	期日：①令和3年8月7日（土）17:15～ ②令和3年9月4日（土）9:00～ ③令和3年9月11日（土）9:00～ ④令和3年10月9日（土）9:00～ 参加者：①14人 ②8人 ③10人 ④15人 解説：阿部哲人（米沢市上杉博物館学芸員）
企画展「上杉家伝来の能面・能装束」	期日：令和3年10月16日（土）17:15～ 参加者：11人 解説：花田美穂（米沢市上杉博物館学芸員）
コレクション展 「国宝「上杉家文書の世界」VI戦国の交渉」	期日：①令和4年2月23日（水祝）17:15～ ②令和4年3月13日（日）9:00～ 参加者：①14人 ②12人 解説：阿部哲人（米沢市上杉博物館学芸員）

(3) コレクショントーク

参加者数：95人

区分	期日・参加者・講師
上杉文華館	期日：4月4日（日）、5月30日（日）、8月1日（日）、 9月26日（日）、11月28日（日） 各回10:00～、15:00～の2回実施 令和4年2月6日（日）の開催は中止した。 参加者：計63人 解説：池野 理（米沢市上杉博物館学芸員）

奥羽再仕置430年記念展示 「天下統一と上杉氏」	期日：令和3年12月11日（土） ①10：00 ②15：00 参加者：①12人 ②20人 解説：阿部哲人（米沢市上杉博物館学芸員）
-----------------------------	--

3 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業

3-1 優れた作品に親しむ機会の提供

(1) 館蔵資料の貸出

区分	件数等
資料貸出の受付と対応	14件
寄託資料の一時持出し対応	1件

4 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

4-1 研究拠点機能の発揮

区分	件数等
特別利用の受付と対応	10件
館蔵資料の掲載及び写真貸与許可等の処理（資料管理と連動）	278件

4-2 ミュージアムショップ事業（収益等事業1）

財団運営及び事業展開の安定化を図り、利用者サービスを充実するため、米沢市上杉博物館のミュージアムショップ及びネットショップにおいて、博物館で開催する展覧会の図録をはじめ、自主製作商品や受託商品の物品販売を行った。

区分	オリジナル商品の開発等
新規商品	刀剣銀地クリアファイル 2種
再販商品	13商品 洛中洛外図関連商品：一筆箋3種、マグネット2種、クリアファイル2種 上杉氏関連商品：マグネット2種 その他収蔵資料関連商品：一筆箋1種 米織商品：巾着、がま口、ブックカバー

II 置賜文化ホール

1 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業

事業の推進・運営にあたっては、関係自治体の方針や、公益社団法人全国公立文化施設協会の劇場・音楽堂等におけるガイドラインを参考に、会場の入場制限や手指消毒液の設置などの対策を講じるなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための様々な対策を行った。

1-1 置賜文化ホール自主事業

(1) 米沢市共催事業

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域

住民の文化的水準の向上に資する事業を、米沢市の負担金により実施した。

催事名	公演日時・入場者・備考
開館20周年「絵本の読み聞かせ『絵本のじかんだよ!』」	日時：令和3年7月24日（土）14：00～ 入場者：255人
開館20周年「山響とみんなで創る音楽会 in おきたま」	日時：令和3年8月22日（日）15：00～ 入場者：207人
開館20周年「真野響子一人舞台 夏目漱石 夢十夜」	日時：令和3年9月19日（日）16：00～ 入場者：185人
開館20周年「AUNJ クラシック・オーケストラ NIPPON 応援 和楽器 LIVE」	日時：令和3年11月23日（火祝）15：00～ 入場者：224人
開館20周年「山形交響楽団ユアタウンコンサート米沢公演」	日時：令和4年2月20日（日）15：00～ 入場者：322人
よねざわ市民ミュージカル育成事業	成果発表会：令和4年4月2日（土）14：00～ 来場者：157人 レッスン指導：令和3年5月～令和4年4月 講師派遣13回 通年参加者：13人

「吹奏楽の日コンサート2021」、「三遊亭円楽・林家たい平二人会」は中止した。

(2) 山形県補助事業

山形県から置賜文化ホール事業費補助金を受け、以下の事業を実施した。「文化の薫り高い置賜の創造」を掲げる置賜地域の中核文化施設として定着していくことを目指し、施設の機能強化を図りながら実施した。

① 地域文化力育成事業

アマチュア活動団体等に活躍・研鑽の場を提供することにより、地域の文化向上とホールの賑わい創出を図る事業を開催した。

催事名	公演日時・入場者数・備考
「ライブ・アット・ホールでジャズ」	日時：令和4年3月21日（月祝）18：30～ 入場者：38人
地域音楽家キャリア支援事業「楽器クリニック指導」	日時：令和4年3月 計4回 参加者：4人

② 能楽関係事業

移動式能舞台を活かして利用者が能楽に触れる機会を提供し、伝統芸能の普及に努めた。

催事名	公演日時・入場者数・備考
開館20周年「能面から知る能の世界」	日時：令和3年11月13日（土）14：00～ 入場者：194人
伝国の杜こども狂言クラブ運営事業	成果発表会：令和4年3月20日（日） 14：00～ 来場者：30人 指導：令和3年5月～令和4年3月 通年参加者数：8人

「令和3年度山形県能楽の祭典」は中止した。

Ⅲ 米沢市座の文化伝承館

事業の推進・運営にあたっては、公益財団法人日本博物館協会や公益社団法人全国公民館連合会のガイドラインを参考に、会場の入場制限や手指消毒液を設置するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための様々な対策を行った。

1 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

1-1 芸術文化活動のための施設貸与

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を活かした「座って行う日本文化」の一つの活動拠点として施設の利用促進に努めた。また、利用者のニーズを把握し、利用促進や設備の更新を計画的に進めた。

施設の利用の促進が地域文化の底上げにつながることから、施設情報のPRに努めた。

区分	件数等
利用件数	84件
利用者数	803人

1-2 自主事業

展覧会名・会期・入場者数	概要
「浜田浜雄と本の世界」 会期：令和3年5月15日（土） ～5月31日（月） 入場者：195人	米沢出身の作家 浜田浜雄の旧蔵書を通して、作家への興味関心を広げてもらうことをねらいとして、平成27年に続き2回目の開催。美術書や詩集を中心に展示し、前衛詩人との関わりも紹介した。 会場である蔵は入場者定員30名に制限。 空調設備が無いため、1・2階の窓開放、扇風機の稼働により換気を行った。

「第30回 市民茶会」は中止した。

Ⅳ 市立米沢図書館

事業の推進・運営にあたっては、公益社団法人日本図書館協会のガイドラインを参考に、定員設定や手指消毒液を設置するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための様々な対策を行った。

1 必要な図書・記録・資料の収集、保管、調査研究、公開展示及び利用に関する事業

1-1 資料の収集、提供、保管、調査研究

(1) 図書・記録等の収集

資料収集基本方針や選定基準、受入基準に基づき、図書、資料の収集活動を行った。

- ・新規購入資料 9,459点（DVD・CDを含む）
- ・寄贈受入資料 1,191点（DVDを含む）
- ・選書会議 毎月休館日に開催

(2) 図書・記録等の提供

① 図書及び図書館所蔵資料の貸出・閲覧、返却

本館での貸出しや閲覧のほか、自動車文庫車「アタゴオル」で市内の小学校や公共施設、教育

施設、福祉施設等を月72箇所巡回し資料の貸出や返却を行うことで、広く市民へ図書館のサービスを提供した。

区分	冊数
図書貸出	376,211冊
自動車文庫車アタゴオルでの配本（月72箇所）	34,791冊
他館との資料の相互貸借	貸出 513冊
	借受 425冊

② 複写サービス

著作権の範囲内で資料の複写サービスを行った。
遠隔地からの複写依頼への対応：44件

③ レファレンス

区分		件数
一般レファレンス	カウンター対応	167件
郷土資料レファレンス	調査を要するもの	140件
	来館者や電話によるもの	多数

④ 特別利用・掲載利用

区分	件数・点数
古文書・古典籍の閲覧	99件 484点
古文書・古典籍の撮影	97件 482点
古文書・古典籍の貸出	3件 359点
その他特別貸出（禁帯本等）	2件 6点
館蔵資料の掲載及び写真貸与許可等の処理	42件

(3) 郷土資料調査

南部地区の神社、堂宮の調査を行った。（令和4年度も継続調査）

(4) 資料の整理及び管理

① 資料管理データベースに関する作業

- ・442点の資料の継続公開
- ・デジタル化完了済の写真データの整理
- ・収集項目の再検討

② 収蔵資料の整理

- ・適正な配架と整理
- ・貴重書庫内の整理
- ・地域史料整理 53点（インポート用データ作成済）

③ 蔵書点検の実施

実施日：本館 令和4年2月1日（火）～7日（月）

自動車文庫 令和3年10月18日（月）～19日（火）

不明資料：41点（長期延滞資料を除く実質的な不明資料：34点）

不明率：約0.01%（長期延滞資料を除く実質的な不明率：約0.009%）

備考：全蔵書345,050点 ※令和4年3月31日現在

④ 資料の除籍・廃棄

条例・規程に基づき、亡失資料、汚破損資料、不用資料の除籍・廃棄を行った。

区分		点数・対象期間
図書、雑誌、AV資料		9, 225点
新聞	日経新聞、河北新報	平成30年4月1日～平成31年3月31日分
	毎日新聞、読売新聞、産経新聞、毎日小学生新聞	平成31年4月1日～令和2年3月31日分
	スポーツ報知、日刊スポーツ	令和2年4月1日～令和3年3月31日分

⑤ 収蔵・展示区域の環境対策

生物被害を未然に防ぐIPM（総合的有害生物管理）を年間通して取り組んだ。また、3・4階貴重書庫の燻蒸作業（令和3年10月4日（木）～10月7日（日））を行い、防虫・防カビの措置を実施した。

- ・毎月の定期清掃
- ・定期的な温湿度、照度測定
- ・害虫の防除・防カビ
- ・粘着トラップの設置
- ・展示ケース内アートソープ入替え
- ・空気環境調査

1-2 展示事業

(1) 先人顕彰コーナー

展示会名	会期
「資料紹介：清水彦介資料」	3月26日（金）～5月26日（水） [61日間]
「吾妻健三郎と大橋乙羽－2人の明治編集者－」	5月28日（金）～7月21日（水） [53日間]
「新聞記事で振り返る夏季オリンピック1952～2016」	7月23日（金）～8月25日（水） [34日間]
「新聞記事で振り返る災害と防災」	8月27日（金）～9月23日（木） [28日間]
「図書館の絵図展7 明治初期の興譲館平面図とC.H.ガラス」	9月25日（土）～10月27日（水） [33日間]
「走る図書館 自動車文庫『アタゴオル』大解剖！」	10月29日（金）～11月24日（水） [27日間]
「写真で見る米沢のむかし part4：平和通りリバイバル」	11月26日（金）～令和4年1月26日（水） [55日間]
「田中俊雄－沖縄織物を救った米沢人」展	1月28日（金）～3月23日（水） [47日間]

(2) 特集コーナー（一般資料・児童資料・郷土資料）

季節行事や社会情勢に関するテーマの資料、先人顕彰コーナー及び米沢市上杉博物館の展示と連携した内容の資料を取り上げ紹介することで、図書館利用者へ新たな気づきをうながし、資料の貸出増加へ繋げた。

2 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業

2-1 教育事業

子どもの読書活動を積極的に推進するとともに、蔵書を活用した事業等を実施した。

また、文学講座、古文書解説講座、英語多読サロンなどを開催し、市民の生涯学習の場としての社会教育施設たる図書館の運営に努めた。

(1) 子どもの読書活動を推進する事業

① ブックスタート

開催日：毎月1～2回（7か月児健康教室時すこやかセンターにて開催）

対象者：7か月児健康教室受診者

参加者：親子416組（未受診者への郵送、来館時の手渡しを含む）

② 小学校巡回文庫

配本月：6月、9月、11月 回収月：9月、11月、3月

対象者：米沢市内小学校16校の児童

③ 2021夏休みこども図書館フェア

期間：令和3年7月22日（木祝）～8月9日（月祝）

項目	期日・参加者等
図書館貸し切り！ゆったり読書&ミニバックヤードツアー	期日：7月30日（金）9：00～10：00 参加者：24人（大人12人、子ども12人）
GO!GO!アタゴオル	期日：7月27日（火）会場：万世コミセン 21人 8月5日（木）会場：塩井コミセン 35人 備考：「アタゴオルによる読み聞かせ」代替事業
本のお楽しみ袋～どんな本が入っているかな？～	通期開催 貸出冊数：322冊
なにを読もうかな？ 図書館オリジナルガチャガチャ	通期開催 ガチャガチャ景品合計：866個
“あおの世界”（こどもコーナー）	児童コーナー（絵本）の面陳の本を青色が入った本に統一した。
ぼくらは、ナセ BA たんけん隊！（Twitter企画）	図書館を中心にナセ BA 中の「場所」と「機能」などをクイズ形式にして Twitter で紹介した。

④ ナセ BA うちどくスタンプラリー

期間：令和3年11月26日（金）～令和4年3月31日（木）

参加者：231人

協賛：公益財団法人近野教育振興会、精英堂印刷株式会社

協力：mizutama 氏（イラストレーター）

⑤ 令和3年度 米沢市小中学生読書感想画展

展示期間：令和3年12月8日（水）～12月12日（日）

展示場所：よねざわ市民ギャラリー

作品数：441点（小学校386点、中学校55点）

観覧者：2,121人

「おはなしかい」は中止した。

(2) 多様な学びを提供する事業

① 第32回文学講座

演題	日時・講師・受講者数
第1回 「近世中後期の米沢歌人たち—『霊前勸進詩歌』を読む」	期日：令和3年10月10日（日）14：00～ 講師：石黒志保（市立米沢図書館司書） 受講者：11人
第2回 「イザベラ・バード『日本奥地紀行』を読み直す」	期日：令和3年10月17日（日）14：00～ 講師：青木昭博（市立米沢図書館副館長） 受講者：14人
第3回 「自然主義文学と〈家〉～島崎藤村を中心に～」	期日：令和3年10月24日（日）14：00～ 講師：岡英里奈氏（米沢女子短期大学准教授） 受講者：10人

② 第36回ふるさと歴史講座

演題	日時・講師・受講者数
第1回 「米沢藩の宗教政策と山岳信仰」	期日：令和3年11月7日（日）14：00～ 講師：原淳一郎氏（米沢女子短期大学教授） 受講者：34人
第2回 「翹楚篇を読む」	期日：令和3年11月14日（日）14：00～ 講師：岡崎勝利氏・平賀陽子氏（米沢古文書研究会員） 受講者：33人
第3回 「米沢藩の木版印刷と荏戸善政の『播時考』」	期日：令和3年11月21日（日）14：00～ 講師：青木昭博（市立米沢図書館副館長） 受講者：32人

③ 第65回古文書解説講座

演題	日時・講師・受講者数
第1回 「戦国武将の書状を読む—国宝「上杉家文書」から」	期日：令和4年3月13日（土）13：30～ 講師：阿部哲人（米沢市上杉博物館学芸員） 受講者：24人
第2回 「米沢藩の地方文書を読む」	期日：令和4年3月21日（日）13：30～ 講師：小林文雄氏（米沢女子短期大学教授） 受講者：17人
第3回 「米沢藩絵図方・岩瀬家文書の世界」	期日：令和4年3月28日（日）13：30～ 講師：青木昭博（市立米沢図書館副館長） 受講者：15人

④ 2021読書週間図書館フェア

期間：令和3年10月29日（金）～11月8日（日）

項目	日時・参加者数等
本と雑誌の付録抽選会	応募者：262人
ナイトバックヤードツアー	期日：10月29日（土）18：45～19：45 参加者：20人
ドキュメンタリー映画「ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス」無料上映会	期日：10月30日（土）・11月1日（月） 参加者：18人

ぬいぐるみのおとまりかい ～ハロウィンパーティー～	期日：11月3日（水） 参加者：15人
アタゴオルを見学しよう！	期日：11月6日（土） 参加者：63人
先人顕彰コーナー展示 走る図書館 自動車文庫「アタゴオル」大解剖！	期間：10月29日（金）～11月24日（水）
ナセ BA 覆面 BOOKS	通期開催 貸出数：132冊
本のリサイクル市	期間：10月30日（土）～11月1日（日） 利用者：118人
雑誌のリサイクル市	通期開催 利用者：317人

⑤ 英語多読

ア 第8回シンポジウム「図書館多読への招待」in 米沢

期日：12月19日（日）

参加者：午前 基調講演・英語多読ワークショップ 53人

午後 図書館多読講演・事例発表 23人

共催：NPO 法人多言語多読

イ 英語多読サロン、英語多読体験相談会

期日	区分	参加者
4月24日（土）	英語多読サロン	13人
5月22日（土）	英語多読サロン	7人
6月20日（日）	英語多読サロン	9人
	英語多読体験相談会 （山形県立米沢女子短期大学学生対象）	9人
7月17日（土）	英語多読サロン	9人
9月27日（土）	英語多読サロン	8人
10月17日（土）	英語多読サロン	10人
11月27日（土）	英語多読サロン	10人
12月26日（日）	英語多読体験相談会	6人
3月27日（日）	英語多読サロン	11人

令和3年8月28日（土）、令和4年1月22日（土）、2月27日（日）の開催は中止した。

(4) 地域、学校との連携

区分	件数等
施設視察・見学受入	学校 19件 約538人 一般 3件 約14人
出前ブックトーク	2件（九里学園高等学校、米沢市立第七中学校）
読み聞かせ指導	1件（九里学園高等学校）
英語多読講座	1件（山形県立米沢女子短期大学）

また、事業中止となった米沢チャレンジウィークの代替事業として米沢市立第六中学校、米沢市立第七中学校から10人を受け入れ、施設見学や職員への仕事に関するインタビューを通し、米沢

の素晴らしさや働くことへの喜び、仕事観などを学んでもらった（期日：10月19日（火）、20日（水）、11月9日（火））。高校生インターンシップの受け入れは中止した。

2-2 普及事業

(1) 出版・寄稿

- ・図書館だより Vol.19、20、21、22号の発行（各2,000部程度）
- ・『令和3年度 市立米沢図書館概要』の発行（300冊）
- ・郷土資料パスファインダー Vol.2「上杉鷹山について調べる」、Vol.3「直江兼統について調べる」の発行

(2) 講演会

講演会名	期日講師・参加者
「吾妻健三郎と大橋乙羽ー明治期2人の編集者ー」	期日：令和3年5月30日（日）14:00～15:30 講師：千葉正昭氏（元山形県立米沢女子短期大学教授） 参加者：12人 備考：先人顕彰コーナー展示「吾妻健三郎と大橋乙羽」関連

V よねざわ市民ギャラリー

事業の推進・運営にあたっては、米沢市の方針に則り、会場の入場制限や手指消毒液を設置するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための様々な対策を行った。

1 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業

1-1 講演会、トークイベント

講演会名	期日・講師・参加者数
スライドレクチャー「秋山庄太郎 Book & Art こぼれ話」	期日：令和3年10月10日（日） 講師：上野正人氏（秋山庄太郎写真美術館館長） 参加者：16人 備考：自主事業「秋山庄太郎展 文士と芸術家のポートレート展」関連

2 芸術・文化活動の創造、支援及び鑑賞機会の提供に関する事業

2-1 展示事業

(1) 自主事業及び共催事業

タイトル	会期・入場者数・備考
「アーツよねざわ100祭展」	会期：令和3年4月14日（水）～25日（日） [12日間] 入場者：1,393人
「秋山庄太郎展 文士と芸術家のポートレート展」	会期：令和3年10月10日（日）～31日（日） [22日間] 入場者：1,380人

「ARTS MEET OKITAMA 2022 & AMO 2021大賞 千葉 三朗展」	会期：令和4年3月12日（土）～3月20日（日） [9日間] 入場者：1,909人
--	---

(2) オープンギャラリー展示事業

米沢、置賜ゆかりの作家や美術動向について紹介。周年や前年からのシリーズなど3つのテーマで、米沢市上杉博物館アートコレクションを公開した。

タイトル	会期
「没後10年 遠藤桑珠」	令和3年5月28日（金）～9月23日（木祝）
「生誕120年 土田文雄」	令和3年9月25日（土）～3月23日（水）
「 ^{いのち} 一生命の造形—桜井祐一の彫刻」	令和4年3月25日（金）～令和5年4月26日（水）

(3) ウッディコンサート

タイトル	期日・入場者
第25回 フルーツデュオ（鈴木芽久・星野すみれ）	期日：4月22日（木） 入場者：30人
第26回 サクソフォン 江川美乃	期日：8月26日（木） 入場者：28人
第27回 福田直樹 チェンバロ～秋山庄太郎展に寄せて～	期日：10月28日（木） 入場者：56人
第28回 川上一道 ～クラリネットと竹あかりのタベ～	期日：11月25日（木） 入場者：82人

令和3年7月21日（木）の開催は中止した。

3 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

3-1 施設貸与による芸術文化活動の促進

市民の多様な芸術文化活動の成果発表の場として展示室と体験学習室を貸与した。展示室では絵画や書道、生け花等の米沢市市民芸術祭に関連する展覧会等が開催され、体験学習室では企画の打ち合わせやサークル活動など、幅広く利用があった。また、即売会など物販可能な施設の特徴を活かした利用もあった。

区分	件数・人数	
展示室（第1～第9）	63件	44,341人
体験学習室	90件	1,285人

VI その他の事業

1 教育・学術・文化施設との連携及び教育普及に関する事業

1-1 伝国の杜

(1) 伝国の杜サポーター運営事業

登録数：34人

新型コロナウイルス感染リスクを考慮し、人数を制限しながら広報、教育普及、図書整理のサポーター活動のほか、前年度に引き続き、利用機会が減少した置賜文化ホールのピアノの音質保

持・状態調整するためピアノ弾き込み活動を行った。一方、インフォメーション、レセプション、洛中洛外図屏風案内は、活動を取り止めた。

伝国の杜サポーター・図書館サポーターの合同研修会は中止した。

(2) 伝国の杜ファンクラブ事業（収益等事業3）

会員数：285人

昨年より40人ほど会員が増えて、コロナ禍以前の会員数に近づいた。

区分	新規	更新・再入会	計
一般	45人	219人	264人
学生	7人	6人	13人
ジュニア	3人	5人	8人
計	55人	230人	285人

【主な事業】

- ・会報及び財団自主事業情報の送付
- ・米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与
- ・置賜文化ホール主催事業の先行予約・割引販売（一部公演除く）
- ・ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の10%割引販売
- ・ファンクラブ会員事業「特別展『狩野派 永徳とその周辺』特別鑑賞講座」の開催
期 日：令和3年9月20日（月祝）
参加数：32人（会員24人、同伴者8人）

(3) 米沢市上杉博物館会議室の貸出（収益等事業2）

貸出基準に基づき適正に貸し出しを行うとともに、円滑な管理運営と利用の促進に努めた。

区分	件数等
利用件数	267件
利用者数	3,909人

1-2 ナセBA

(1) 図書館サポーター運営事業

登録数：31人

「山形県における新型コロナ対応の目安」の注意・警戒レベル「レベル2」以下を基準とし、以下の活動を実施した。

「夏休み子ども図書館フェア」、「読書週間図書館フェア」では、テーマに沿って選定した本を中が見えない状態で並べ貸出を行う「お楽しみ袋」の企画に協力。

伝国の杜サポーター・図書館サポーターの合同研修会は中止した。

(2) 米沢市まちなか駐車場の管理運営（収益等事業2）

基準に基づき、適正に管理運営を行った。利便性の向上や安全管理の徹底を図りながら、利用促進に努めた。

利用台数：104,799台

2 歴史・芸術・文化活動拠点の運営に関する事業

2-1 伝国の杜

(1) 関係施設・団体との連携・協力

上杉文化エリア懇話会へ参加し、歴史・文化・観光拠点の諸団体と連携して良好な景観形成活動等を推進した。

(2) 周遊促進ツールへの参画

米沢市を訪れる観光客に幅広く館の情報をPRするため、外部組織の企画する周遊促進ツールに参画し、持参者には米沢市上杉博物館入館料の団体割引の特典を付与した。

区分	利用人数
まちナビカード（道の駅米沢に設置）	361人
米沢上杉文化施設共通入館券「米沢観るパス」	529人

2-2 ナセBA

(1) まちづくりネットワークとの連携

「こまや」を活用した地元商店街や、各種団体の事業に協力した。

中心市街地活性化協議会主催で開催された「ナセBA開館5周年記念イベント」（令和3年7月3日（土））では、バルーンリリースやマルシェなどが企画され、市民や観光客で賑わった。

3 財団の適正な運営に関する事業

3-1 施設の管理、運営

関連法令及び諸規程、契約・協定を遵守し適正に管理を行った。

3-2 施設設備の保守及び危機管理

地震や火事を想定した避難訓練を各施設で年2回実施した。

また、各施設に設置されたAEDを職員が正しく使用できるよう救急救命講習へ定期的に参加し、緊急時に適切な救命処置を施せるよう技能を学んだ。

3-3 入館者の増加と販売促進に関する活動

有料媒体と無料媒体を活用し、当財団事業及び施設に関するPR活動を行うことで入館者の増加を図った。チラシ、ポスター等を製作し、掲示及び近隣施設等へ配付・持参したほか、HPやSNS等のWeb媒体を使い、リアルタイムで更新される特性を活かして事業告知等を行った。

また、米沢市上杉博物館においては、無料入館日や開館延長、中高生の「無料観覧証」に関する案内や周知に努めた。

3-4 施設間での連携

施設相互にポスター等を掲示したほか、関係機関との連携強化や情報交換に努めた。

置賜文化ホールの指定自主事業チケットの提示により米沢市上杉博物館の入館料を団体割引料金とし、施設相互の利用拡大を図った。また、米沢市上杉博物館企画展「上杉家伝来の能面・能装束～語りはじめた面袋～」開催に合わせ、置賜文化ホール自主事業「能面から知る能の世界」を実施し、劇場と博物館の合築施設である伝国の杜の特徴を活かした企画を推進した。

さらに、伝国の杜とナセBAの行き来を推奨し青少年・こどもの「まなび」を応援する事業として、小中高大生を対象とし、市立米沢図書館の利用者カード提示で米沢市上杉博物館の入館料を団体割引料金とし、年間で63人の利用があった。

3-5 評価

(1) 内部評価

財団の目標及び運営方針に則った内部評価シートを作成して自己評価に取り組み、運営と業務の改善を図った。

(2) 外部評価

① 来館者アンケートの実施

事業ごとに来館者アンケートを実施し、その結果を分析・検討し、業務に反映することで事業やサービスの改善を図った。新型コロナウイルス感染症の対策のため、実施時期を絞り込んだ。

② 利用者アンケート調査の実施

市立米沢図書館利用者の利用頻度や目的、満足度等に関する利用者アンケートを実施し、その結果を分析・検討し公開した。

期 間 令和3年9月1日～9月14日

回答数 817件 (配布数1,087件。回答率75.2%)

結果報告 市立米沢図書館ホームページ上及び館内で報告

③ 運営協議会の開催

委員：各10人

2回の会議を開催し、委員からは、管理・事業運営全般にわたる意見や提言を頂戴した。

区分	日時	会場
伝国の杜	i) 令和3年8月25日(水) 15:00～	伝国の杜2階小会議室
	ii) 令和3年12月7日(火) 14:00～	伝国の杜第1・第2楽屋
ナセBA	i) 令和3年8月3日(火) 15:00～	ナセBA1階体験学習室
	ii) 令和4年1月24日(月) 15:00～	

3-6 スタッフの育成

定期的に勉強会・講習会を実施し、事業運営における職員のスキルアップを図った。また、来館者対応については、展示ごとに内部での展示説明会や接遇研修を実施し、質の向上に努めた。

3-7 役員会の開催

(1) 理事会

区分	日時・場所・決議事項
通常理事会	日時：令和3年5月28日(金) 13:30～ 場所：伝国の杜2階 大会議室 報告事項：令和3年3月24日理事会以降の職務執行状況 決議事項：令和2年度事業報告及び附属明細書及び計算書類の承認 他1件
	日時：令和4年3月24日(木) 15:00～ 場所：伝国の杜2階 大会議室 報告事項：令和3年5月28日通常理事会以降の職務執行状況 決議事項：令和4年度事業計画の承認 他8件
臨時理事会	日時：令和3年6月19日(土) 16:20～ 場所：伝国の杜2階 小会議室 決議事項：常務理事の選定

(2) 評議員会

区分	日時・場所・決議事項
定時評議員会	日時：令和3年6月19日(土) 15:30～ 場所：伝国の杜2階 大会議室 報告事項：令和2年度事業報告 決議事項：令和2年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 他2件